

【小学校5～6年生】 怒ること・叱ること

「怒ると叱るは違う」と、昔から言われています。

例えば、「**親が**怒る」「**子を**叱る」というように主語の違いもありますが、「怒る」は、自分の思い通りにならなかった時に怒りの感情を相手にぶつけてしまうこと、「叱る」は、自分の思う通りにならなかった時、相手により良くなってもらうために注意し、アドバイスすることです。

子育てをしていると、「怒り」がない人はいないと思います。親の思うペースで、物事が進まないとき誰が一番困っていますか？もちろん、親ですね。自分が考えた通りに行かないから、嫌になってしまうし、不安になってしまうため「怒る」のです。「怒る」時は感情に任せているので、後から自己嫌悪に陥り「私が悪かった」と思うこともしばしば。そんな時には、クールダウンが必要なのです。とは言え、大人である親がいきなりその場から去ってしまうと、今度は子供の方が「私が悪かった」とか「何よ！大人のくせに！」となり、コミュニケーションが閉ざされてしまいがちなので、「ちょっとクールダウンしてくるね」と子供に一言伝えてくださいね。このやりとりが良好なコミュニケーションなのです！怒ってしまう感情は仕方ないのです。怒ることが悪いのではなく、一方的であることがよくないのではないかなと思います。

一言、追加します。怒るときに出る大きな声、特にお父さん大きな声は、その大きさだけで、子供にとって脅威になることだけは確かです。本当に怒らなければいけない場面に出会うまでは取っておきたいものです。むやみやたらに大声で怒ることは避けてください。ここぞという時のお父さんの怒る大声は、危機の時にこそ有効な宝物です。

執筆：認定特定非営利活動法人育て上げネット 「結」相談員 森 裕子・墓田 薫

「ニート・ひきこもりの子をもつ親の会『結』」
(運営：認定特定非営利活動法人育て上げネット)

若者の「働く」と「働き続ける」を実現するために、若年無業者就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」など、多方面からの支援を行っている「認定特定非営利活動法人育て上げネット」の活動の一つで、親をサポートするための会。1か月ごとの定期相談やすぐに実施できる「接し方・伝え方」ワークショップ、親同士の気軽な茶話会などを提供している。

